

九州共立大学防災建設系実験施設

九州共立大学防災建設系実験施設の概要

木材、金属、コンクリートなどの構造部材の引張、圧縮、曲げに関する試験や地震、振動条件下での各種構造物の耐性評価を可能とする試験機を備えた実験棟（建築学科と共用）があります。また、地盤に関する実験室、大型開水路などを整備した水理実験室など、九州地区大学の中では、トップクラスの充実した総合実験設備を有しています。



水理実験室 造波水路



実験棟全景



地震発生振動実験台



2軸構造試験機



300tf試験機



地盤実験室 傾斜群杭実験装置

都市建設と自然災害に向かい合う

九州共立大学

環境土木工学科 シビルデザインコース

日本道路公団撮影

災害を学ぶ

人の生活を直接支える各種交通網やそれを構築する基幹構造物、生活に直結したライフライン施設など多様な社会基盤施設や防災構造物の計画、設計、施工、維持管理について学びます。特に、自然災害から人々を守る幅広い技術の体系を学ぶことができます。



ニューオリンズ / 高潮浸水



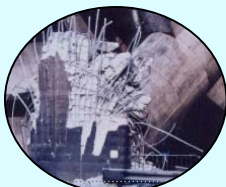
新門司 / 高潮



台湾 / 地震による地滑り



神戸 / 高架橋の倒壊

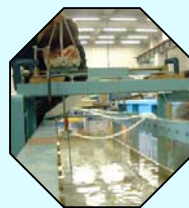


神戸 / 橋脚の破壊

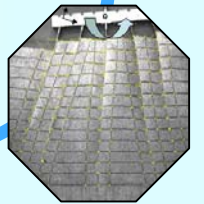


福岡 / 防波堤後背地の地盤沈下

実験実習



地震発生振動台、地盤変形実験装置、大型開水路、造波水路などを用いた各種の実験実習を体験します。



地震災害を防ぐ耐震構造の技術開発や液状化が起こっても壊れない建物の基礎構造の実験、高潮や津波災害を防ぐための現地調査やコンピュータを用いた数値シミュレーションなど多彩な実体験を重視した教育を展開し、地域防災に貢献できる人材を養成します。



九州共立大学ビオトープ



ビオトープ(BIOTOP)の定義

生物・生命:bios、空間:topos

“一定の最小限の単位を持ち、等質的で周辺に対して境界づけられうる特色のある動植物共同体の生活空間”

“有機的に結びついた生物群すなわち生物社会の生息空間であり、生物群が生きていけるだけの最小限の面積を有し、周辺空間から明確に区別できるまとまり”

学校ビオトープ

- ・敷地内や周囲にある既存の自然環境
- ・復元や創造により生まれた自然環境

↓
その場所を学校ビオトープと定義されている



大池の造成(天然材料使用)



ビオトープのアイドル



Welcome Gate



せせらぎ水路



水循環池 (ガンジポータルを呼び込むための仕掛け)



環境保全・創造に向かい合う

九州共立大学

環境土木工学科

エコサイエンスコース

緑地環境

屋上緑化 ガーデニング

都市の気温が周囲より高くなるヒートアイランド現象を緩和する都市緑化・屋上緑化、耕作されなくなった畑・水田を緑地・森林に変える緑地計画、最近関心が高まっているガーデニング・太陽光発電などを学びます。



ガーデニング



屋上緑化



屋上緑化実験



太陽光発電



風力発電



気象観測

フィールドワーク



田植え・稲刈り、里山保全、竹炭作り、海岸清掃、カヌーによる河川的环境調査等を行っています。



生態系や自然環境の保全、ビオトープの創出、自然環境と調和した人の生活・生産活動システムのあり方について勉強します。環境の管理と評価に関わる広範な知識と高い思考能力を有する技術者を育てるために、学生の野外調査活動・フィールドワーク等、実体験を重視した教育を展開します。地域社会において環境保全活動の中心的な役割を担える、行動力・企画力の優れた能力を兼ね備え、協調性に富んだ人材を養成します。